

## 県交通安全施設工事業協会総会

# 自覚持ち資質向上を

県交通安全施設工事業協会(重吉孝二会長)は、鹿児島市で16年度通常総会を開き、技術技能の向上や交通安全施設事業の拡大を図ることなどを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに重吉会長が「今年度は公共事業の大大幅な減少により、業界を取り巻く環境は厳しいが、各社がさらなる経営体質の改善を図り乘り切ってほしい。当協会も事業計画案を中心に組織の強化を図りながら、会員の事業拡大が図れるよう交通安全施設工事業としての自觉と誇りを持ち資質の向上に努力していきたい」と挨拶。



新年度事業計画等を決めた総会  
=鹿児島市のパレスイン鹿児島で

議案を審議した結果、全て原案通り可決承認した。新年度事業計画は、①内部組織の充実強化を図る②交通安全施設事業の拡大を図る③技術技能の向上④災害防止対策の推進⑤法令の順守⑥協会としての社会貢献を果たす

⑦行政機関との連携を図るなど。

なお、当日は総会の後、安全祈願祭、懇親会も行われた。

死回生」を紹介しながら、全国の民間法人280社のうち、およそ70%が赤字である。矢つき刀折れたの感であるが、

それが大事なことかを見詰め直し、危機感をもつて勉強していく時期にきている」などと話した。

総会では今年度事業計画を決めたほか、今年度会員名簿について説明があり、(有)青山建設(福田祐作社長)、(株)中池組(中池君子社長)(以下、吉満山下房枝社長)の代表者との異動が報告された。

総会司会は長谷治理事(株)春園組、議長は橋口知章副会長(株)橋口組。廣瀬十士副会長(株)植村組が閉会の挨拶をした。

吉満会長は「今年度も何か新しい発想も導入されるであろう。業界の方々も、時代の変化をしっかりと受け止め、より高い技術力や企画力を持つことで最大限のサービスを提供するために、整備手法もPFIのほか新しい発想も導入されるであろう。時代の変化をしっかりと受け止め、より高い技術力をもつて対応してほしい」と語る。

昭和49年下水道部建設課機械技師として入庁。以降、下水処理場の機械設備の設計・管理、浄水場や水源地等の維持管理など、現場部門を

理など、現場部門を

主な特徴として、蓄電池は電気×重層コンデンサ、充電方式は天候に

係なく発電、充電できる。

また、日陰での設置も可

能で、環境への影響は無

公害で回収規制もない。

寿命は電池交換不要(充

放電回数約10万回以

上の長寿命を実現して

いる。

また、同システムは無

線監視カメラとの併用な

イシステムとの応用を計

画しており、防犯、防災

などの用途へ広く活用で

きる。

問い合わせは、同社

(東京都中央区日本橋浜町2-1-25-1-2、チャンピオンタワー8階)まで。

・3664-6911

## 川内建築建友会総会

# 4団体力合せまい進



新年度のスタートを祝って乾杯する出席者  
=川内市の川内ホテルで

川内建築建友会(吉満伊佑会長、会員29社)は27日、川内市の川内ホテルで第42回(16年度)総会を開き、県立宮之城技術専門校運営懇話会の開催や建築4団体との合同

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

計画を決めた。吉満会長は「今年度も建築4団体と力を合わせ、現場研修実施などの事業

## 加治木町管工事組合総会

# 新会長に鳥丸氏選出



鳥丸 弘行新会長

加治木町管工事組合(森木大輔会長)は28日、始良郡加治木町のいち松で16年度定期総会を開き、水道週間奉仕作業や各種親睦行事の開催等を柱とする新年度事業計画を承認するとともに、任期満了に伴う役員改選では鳥

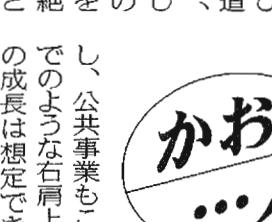
丸弘行氏(㈲鳥丸設備工事)が議長に選出し議事に入った。

議案審議では、15年度事業報告並びに収支決算並びに収支予算案をすべて執行

した。新役員は次の通り。

会長=鳥丸弘行、副会長=岩澤浩一(㈱岩澤組)、書記会計=中玉利俊幸(㈲カタマリ)、監査=森木大輔(㈲大洋水道)

手軽で便利な料のお支払いは自動振替で



水道水を飲めることは、文化の一つ。水道業に携わる者としてこの石原慎太郎東京都知事の言葉が強く心に残っている。長い不況やライフスタイルの変化等により、水道水の需要が低迷す

れ感は強い。その一方で、このような右肩上がりの成長は想定できず、その在り方も変わって

き、公共事業もこれまでのようないままである。市民の信頼を裏切るようなことは絶対に許されません」と

西村謙一さん(鹿児島市水道局水道部長)に就任した西村謙一さん

てている河頭浄水場の傾斜板設備、慈眼寺水源地の送水ポンプ設備、中央3号配水管線等の更新を中心とした事業を予定している。しかし

る。「限られた予算の水の売れ行きは伸びている。「もっと水道の安全性をPRし、市民の水道離れを少し、公共事業もこれまでのようないままである。右肩上がりの成長は想定できず、その在り方も変わってき、公共事業もこれまでのようないままである。市民の信頼を裏切るようなことは絶対に許されません」と

吉満会長は「今年度も新たに、公共事業もこれまでのようないままである。右肩上がりの成長は想定できず、その在り方も変わってき、公共事業もこれまでのようないままである。市民の信頼を裏切るようなことは絶対に許されません」と

吉満